



四日市自然保護推進委員会 主催

「新緑の里山～里山の植物、昆虫、動物たち」

四日市市 南部丘陵公園 自然観察会



晴天の5月、58名の参加者が集まりました。そして自然観察指導員の寺田さんをはじめとする自然保護推進委員会のメンバーと一緒に、自然の中を歩きながら昆虫や植物などを観察しました。

自然の中で本物に触れよう！

最初に公園内にいる生き物のお話を聞いたあと観察にでかけます！



出会った植物や動物たち。



- 1 キクラゲを発見。広葉樹の枯れ木などに群生するキノコです。
- 2 「イタドリ（タテ科の多年生植物）」を見つけました。寺田さんがイタドリの茎を食べて見せると、こどもたちはびっくり！
- 3 捕まえたカナヘビを手を持ってハイチーズ！この女の子は自分から「観察会に参加したい！」と言って、お母さんと一緒に参加したそうです。



穴を開けたのはだあれ？

コゲラ（キツキ）です。

寺田さん「生き物を見つけたたり、お話を聞いて楽しかったというのでもいいんです。参加者にとって自然観察会が何かを考えるきっかけになればいいと思います」



里山で生き物と触れ合いました。



観察会をきっかけに

子どもたちは「視・聴・嗅・触・味」の五感を使って思いっきり自然に親しみ、そこから自然のしくみを知っていきます。

この日の観察会の最後に、荒廃した里山のようにや公園の脇にある三面張りの水路を見ながら、寺田さんは「ここは生き物にとって住みやすいところなのかな？」と子どもたちに問いかけ、これを観察会の締めくくりとしていました。

